



若葉小

学校だより

平成26年12月16日

尼崎市立若葉小学校

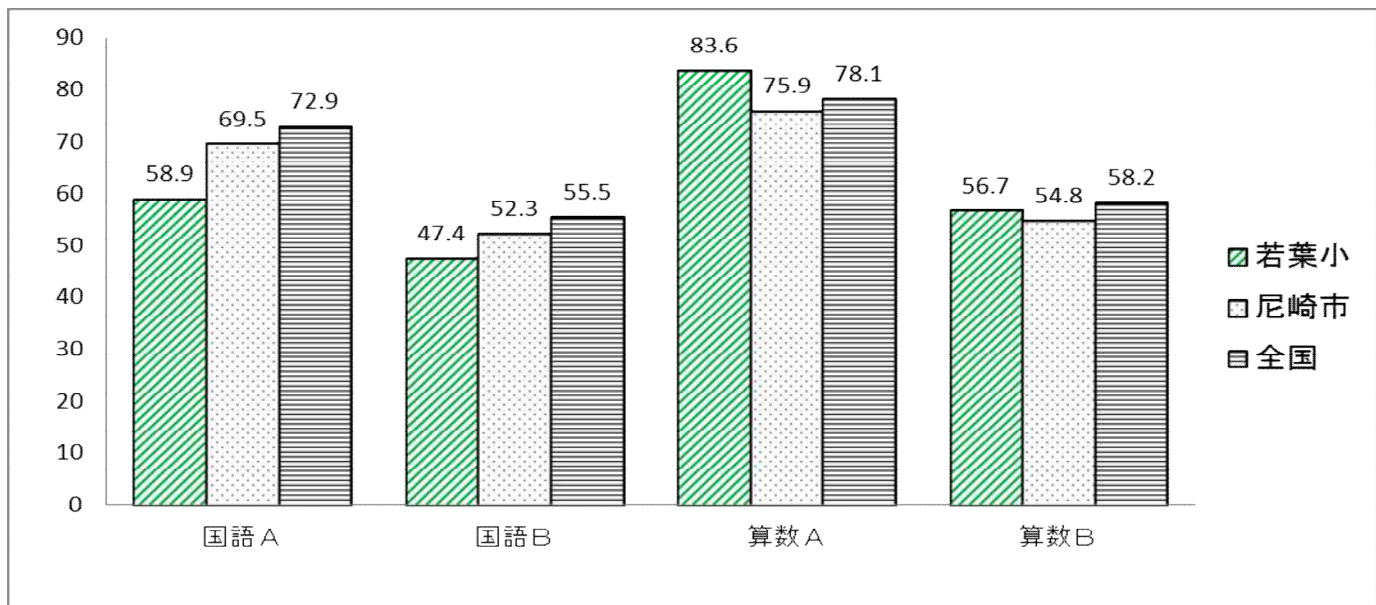
学力調査臨時号

全国学力・学習状況調査（平成２６年度実施）の結果について

平成２６年４月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果の概況がまとまりましたので、保護者の皆様にお知らせいたします。「全国学力・学習状況調査」とは小学校６年生を対象として、学習の定着度や学習意識、家庭での学習実態を客観的に把握し、今後の学校の指導体制や指導方法の工夫改善、家庭学習の進め方などに生かすために実施されています。結果は、実施学年の限られた教科や生活実態で、学校全体の概要を表すものではありません。特に本校の場合は、対象数が非常に少ないこともあり、正確な実態を示しているとは言えません。しかし、学校としては、結果を真摯に受け止め、基礎学力の定着や基本的生活習慣の確立をはかるために、これからも具体的な検討を進めてまいりたいと思います。

I ６年生の学力調査（５年生の内容）

1 結果



2 結果の概要

- 国語 A 平均点は５８．９点で全国平均より１４点下まわっています。市内平均には１０．６点下まわっています。
- 国語 B 平均点は４７．４点で全国平均より８．１点下まわっています。市内平均には４．９点下まわっています。
- 算数 A 平均点は８３．６点で全国平均より５．５点上まわっています。市内平均には７．７点上まわっています。
- 算数 B 平均点は５６．７点で全国平均より１．５点下まわっています。市内平均には１．９点上まわっています。

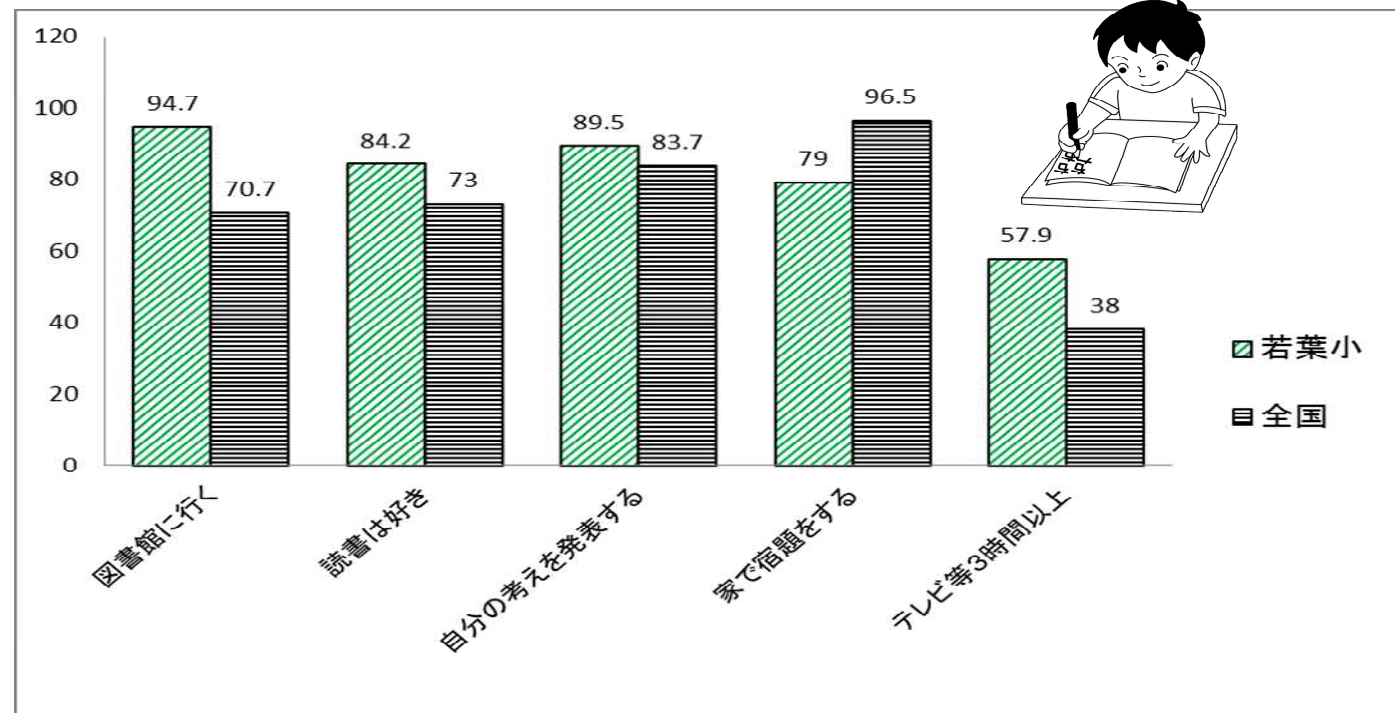
3 分析と課題

A問題は基礎・基本を見るテスト、B問題はそれらを活用する力を見るテストです。今年度は算数Aは全国平均を、算数Bは市内平均を上まわっています。特に、基礎・基本をみるA問題は全国平均より５．５点

も上まわっています。この得点を全国の都道府県別平均点に当てはめると、秋田県や福井県とほぼ同じです。B問題については全国とは１．５点の差ですから、ほぼ全国と同じ程度の学力がついていると言えます。３年生から同室複数指導や少人数授業を続けてきたことや昼のチャレンジタイムで計算練習を続けてきた成果だと考えています。引き続き、この力を伸ばしていきたいと思います。

国語 Aも国語 Bも若干全国と差があります。朝の学習タイムや家庭学習の見直しを進めていきたいと思います。また、放課後学習も引き続き、毎週火曜日・木曜日と２回ひらき、補充学習が必要な子ども、家庭学習や自主学習ができにくい子どもについての学習の場を設けるようにしていきます。

II 学校や家庭での子どもの様子や意識について



このグラフは、学校生活や家庭生活での学習の様子や子どもの意識を表したものです。「図書館に行く」の項目では本校は９４．７％の子が図書館に行くと答えています。また「読書は好き」の項目では、どちらかと言えば当てはまると答えた子どもも含めると、８４．２％の子どもたちが「好き」と答えています。言語力向上事業で図書先生が学校に来るようになって、週に４回図書室が開館できたり、読書に関心が持てるような様々な工夫があったりすることの成果だと考えています。また、「自分の考えを発表する」の項目ではどちらかといえば当てはまると答えた子どもも含めると９０％近くの子どもたちが発表する機会があると答えています。ここから授業中は活発に手を上げるという大変、子どもらしい「わかばっ子」の姿が浮かび上がってきます。残念ながら今年度はこれらの力が学力調査の数値には成果として表れませんでした。今後の取り組みの大きな課題です。

「家で宿題をする」と答えた子どもが約８０％ですので、残りの２０％の子どもは家で宿題をしていないことになります。また、「テレビやビデオ・DVDを見る時間が３時間以上」と答える子どもが５７．９％と６割近い子どもが３時間以上と答えています。家で宿題をしていないと答えた子どもはおそらく、この中に含まれると考えられますので、家で宿題をしない子どもほど、テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりする時間が増えるのではないかと考えられます。家できちんと宿題をすること、学校の方でも宿題を含めた家庭学習の習慣化を図って参りますので、ご家庭の方でもご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

おわりに

今後も、若葉小学校は全職員が一丸となって、児童のよりよい成長を願い、指導に取り組んでまいります。そのためには、保護者の皆様のご協力はもとより、地域の皆様のご協力が必要となります。今後とも、よろしくご協力ご支援くださいますようお願いいたします。